

授業科目 相談援助演習Ⅰ

【担当教員名】 河野 聖夫		対象学年	2	対象学科	社会
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 ソーシャルワーク実践の基礎となる視点と技術を学ぶとともに、対象者理解の視点を修得する。学生による主体的なプレゼンテーション、ディスカッション、ロールプレイなどを通じて実際の援助場面をイメージしながら、思考力・共感力などを高めていく。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1 自己理解や他者理解を深める。 2 コミュニケーションの能力を高める。 3 ソーシャルワーク実践の基礎となる対話技術を習得する。 4 対象者（クライアント）理解の視点について学ぶ。 5 ソーシャルワーカーが備えているべき観察力、理解力、分析・判断力、応用力、計画・企画力などについて考える。					
回数	授業計画・学習の主題		SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	オリエンテーション			授業予定及びクラスの確認 ほか	
2	自己理解・他者理解 1			自分から見た私 他者から見た私 を考える ほか	
3	自己理解・他者理解 2			自分の日常的な会話を分析、考察する ほか	
4	自己理解・他者理解 3			初対面の印象について考える ほか	
5	コミュニケーションの基礎 1			挨拶の方法と特徴について考える ほか	
6	コミュニケーションの基礎 2			言語的コミュニケーション技法	
7	コミュニケーションの基礎 3			非言語的コミュニケーション技法	
8	コミュニケーションの基礎 4			文書、手紙、メールなどによるコミュニケーション ほか	
9	対象者理解 相談援助の対象者（来談者）について学ぶ			模擬体験や事例を通じてのグループ討議 ほか	
10	対象者理解 相談援助の対象者（来談者）について学ぶ			模擬体験や事例を通じてのグループ討議 ほか	
11	対象者理解 相談援助の対象者（来談者）について学ぶ			模擬体験や事例を通じてのグループ討議 ほか	
12	対人関係への理解			援助関係や信頼関係について体験的に学ぶ	
13	対人関係への理解			援助関係や信頼関係について体験的に学ぶ	
14	対人関係への理解			援助関係や信頼関係について体験的に学ぶ	
15	まとめ			考察 振り返り 自己課題の考察	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		ワークブック 社会福祉援助技術演習〈1〉 山田 容		ミネルヴァ書房	2003・1,700円＋税
		対人援助の基礎			
		実習生のための対人援助技術	社会福祉実習研究会編集	中央法規	2006・2,200円＋税
		対人援助のための相談面接技術	岩間伸之	中央法規	2008・1,800円
その他の資料					
【評価方法】 出席 参加態度 取り組みの成果			【履修上の留意点】 継続的な取り組みなので、特に事情の無い限り、欠席は認められない		